

# Digital Watch

取説番号：G-D40c

デジタル専用

取り扱い説明書 / 保証書

※取り扱い説明書の内容や商品は改良などのため、予告なしに変わる事があります。
※この時計によって生じたいかなる支出・損益、その他の損失に対しては一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

この度は、クレファール商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
お客様の選ばれた商品を末永くご愛用頂ける様、この取り扱い説明書をよくお読み頂き正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。尚、この取り扱い説明書はお手元に保管していただき必要に応じてご覧ください。

## 保証書

製品型番

※製品型番は時計の本体、裏フタに表記してあります。

お買い上げ日

ふりがな

お客様氏名

お客様住所

ご連絡先電話番号

販売店

※保証期間はお買い上げ日より1年間です。

本保証書は日本国内に於いてのみ有効です

## 保証規定

保証期間中に、正常なご使用状態に於いて、万一故障が発生した場合には、下記の保証規定により無償で修理・調整させて頂きます。本保証書と現品をお買い上げ店へご呈示ください。また、ご贈答・転居などによりお買い上げ店での保証が受けられない場合には当社アフターサービスにご呈示ください。

通常のご使用状態に於ける故障で、製造上の不具合によるものについては、お買い上げの日より1年間、無償で修理・調整いたします。

保証期間中であつても下記の場合には有償となりますので御了承ください。
①誤ったご使用またはお取り扱い上の不注意による故障。
②火災・水害・地震、その他の天災地変による故障。
③不適当な修理や改造による故障。
④ご使用中に生じた外装・外観上の変化(ケース・ガラス・リュウズ・バンドのキズ、色落ちなど)
⑤保証書のご呈示がない場合、あるいは保証書にお買い上げ店名、捺印、及びお買い上げ年月日の記入がないなど記入事項に不備がある場合。

保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理の際ケース・文字盤・針・ガラス・リュウズ・バンドなどについては、一部代替部品を使用する場合がございますので、御了承ください。

また、一部の機種でベルトとケースが一体成型の機種があります。この機種はベルトのみのお取替えは出来ませんのでご了承ください。

最初に入っているモニター用電池、バンドの損耗、電池の消耗による電池交換、などは保証の対象外となります。

この保証書は、以上の保証規定により無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

## 製品仕様

- 仕様 日差 ±3秒以内 (気温10℃~30℃において、携帯した場合)
機能 表示内容
①時刻・カレンダー(月/日/曜日)
②ストップウォッチ機能
最大計測時間：23時間59分59秒
1/100秒計測は29分59秒99まで、30分経過後は1/1計測(時計と同じ表示方法)に切替わります。
③アラーム機能
④12時間/24時間表示
⑤チャイム(時報)機能
⑥ELライト
※モデルにより機能が若干異なる場合があります。

## 修理について

保証期間中のアフターサービスについては、お買い上げ店にご相談ください。保証期間経過後の修理については、お買い上げ店またはお近くの取扱店にご相談ください。修理用部品の在庫が無くなった場合など、修理をお断りさせて頂くこともございますのでご了承ください。

※修理用部品とは作動に必要な時計本体の部品です。実際に修理が可能かどうかはご使用の状態により異なり、時計精度などは元通りにならない場合もあります。修理内容によっては修理代が標準小売価格を上回る事もございますので、修理依頼の際には取扱店様とよくご相談の上ご依頼ください。

## 製造元 株式会社クレファール

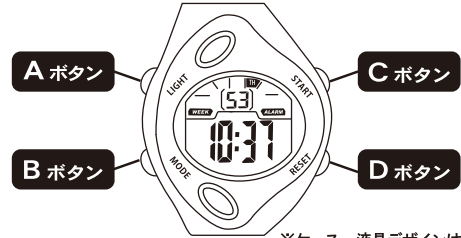
〒104-0041 東京都中央区新富1-15-3新富ミハマビル3F

## 株式会社クレファールアフターサービス

〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1
TEL:042-703-1785 FAX:042-700-1106
(土日休日を除く平日10:00~12:00 / 13:00~17:00)

## ボタンと各モード

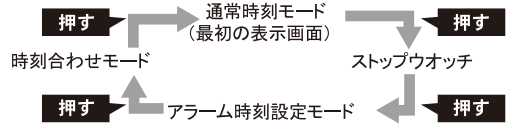
- 本説明書中に出てくる各ボタンは、下の図を参照してください。
●文字のデザインや色はモデルによって異なります。また、モデルにより多少機能が異なる場合があります。



※ケース・液晶デザインは一例です。実際の製品形状と異なる場合があります。

## モード画面の切替

Bボタンを押すごとにモードが下記の順に切り替わります。



※モデルによりストップウォッチとアラーム設定のモード切り替えの順番が入り替わります。

## 時刻合わせ・日付合わせ・12/24時間表示切替

通常時刻画面でBボタンを3回押し、時刻合わせモードを表示

→ 秒と曜日の「TU」が点滅します

Dボタンで設定箇所の切り替え(時刻と日付)

Cボタンで設定(Cボタンを長押しすると早送り出来ます)

※12/24時間表示の切替操作は、時刻合わせモードで時刻を設定する際にCボタンで「時」を進ませるとAM(午前)→PM(午後)→H(24時間表示)と表示が切り替わります。

## <12時間表示の一例>

※モデルによって表示が異なる場合がございます。下記をご参照ください。
午前…「A」、「AM」または表示無し。
午後…「P」、「PM」

※Cボタンを押すことで12時間/24時間表示の切り替えができるモデルがあります。

Bボタンで終了

## 日付を見る

通常時刻モードでCボタンを押している間だけ表示します。

※通常画面に日付表示のあるモデルはボタンを押しても表示されません。

## アラーム時刻設定

通常時刻画面でBボタンを2回押し、アラーム時刻設定モードを表示

→ 曜日の「MO」が点滅します

※アラーム時刻は、通常時刻合わせで設定した12/24時間表示に準じています。

Dボタンで設定箇所の切り替え

Cボタンで設定

Bボタンで終了

※アラーム時刻を1分でも動かすと自動でアラームがONになります。アラームを鳴らさない場合は、時刻設定をするたびに手動でOFFにしてください。

## アラーム音の消し方

Dボタンを押すとアラーム音がとまりますが、放置しても約1分後に自動的に止まります。アラーム・時報は毎日鳴ります。鳴らせたくない場合は、OFFにしてください。

## ■スヌーズについて

アラーム作動中にCボタンを押した場合、アラームは一旦止まりますが、約5分後に再度鳴ります。
※Dボタンを押してアラームを止めた場合、スヌーズ機能は作動しません。

## アラーム・時報のON/OFFを確認する

通常時刻モードでDボタンを押している間だけ、アラーム時刻とアラーム、時報のON/OFFの確認ができます。
※モデルによりボタンを押しても表示されません。

## ■アラームのON/OFFを確認する場合

「ALARM」又はベルマーク、又は(●)マークが表示された時→アラームON
上記のマークが表示されない時→アラームOFF

## ■時報のON/OFFを確認する場合

曜日が全て表示された時→時報ON
曜日が全て表示されない時→時報OFF

## アラームのON/OFFの切り替え方法

通常時刻モードでDボタンを押したままCボタンを押すとアラームON/OFFの切り替えです。
※Dボタンを離すと設定できません。

ONの時は「ALARM」又はベルマーク、又は(●)マークが表示されます。

## チャイム(時報)のON/OFFの切り替え方法

通常時刻モードでDボタンを押したままBボタンを押すとチャイムON/OFFの切り替えです。
※Dボタンを離すと設定できません。

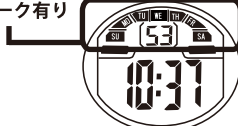
曜日が全て表示された時→時報ON
曜日が全て表示されない時→時報OFF

## 時報ON

曜日が全て表示された時

曜日表示

マーク有り

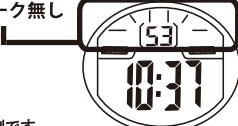


## 時報OFF

曜日が全て表示されない時

曜日表示

マーク無し



※図は一例です。

## ストップウォッチモードの使い方

### ●通常計測

通常時刻画面でBボタンを1回押し、ストップウォッチモードを表示

→ 曜日の「FR」「SA」「SU」が点滅します

Cボタンでスタート Cボタンでストップ

Dボタンでリセット

### ●積算計測：時間を蓄積して計測します

通常時刻画面でBボタンを1回押し、ストップウォッチモードを表示

Cボタンでスタート Cボタンで一時停止

Cボタンで計測再開（一時停止 / 計測再開は何回でも可能）

Cボタンでストップ

Dボタンでリセット

### ●スプリットタイム計測

：スタートからゴールまでの計測をしながらか途中経過の記録を確認できる計測です

通常時刻画面でBボタンを1回押し、ストップウォッチモードを表示

Cボタンでスタート

Dボタンでスプリットタイム計測（表示一時停止・計測は続行中）

→ スプリットタイム計測時は曜日の「TH」「SA」「SU」が点滅します

Dボタンで計測表示再開（計測再開は何回でも可能）

Cボタンでストップ

Dボタンでリセット

## 安全上のご注意

■ご使用になられる方や他の方への危害及び財産の損害を未然に防ぐ為、下の表示で区分されている内容につきましては一読してご確認の上、必ずお守りください。

### ⚠ 警告

この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

### ⚠ 注意

この表示の欄は、表示内容と異なった使い方をした時に「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

## 防水性について

### ⚠ 警告

- 日常生活用防水（3・5気圧）の時計は、水中に入れてしまう様な環境での使用はできません。
- 日常生活用強化防水（10～20気圧）の時計は、飽和潜水/空気潜水には使用できません。

表示区分	非防水	日常生活用防水		日常生活用強化防水
		3気圧防水	5気圧防水	
使用状態	ケースの裏又は文字盤に「WATER RESISTANT」の表示の無い時計	ケースの裏又は文字盤に「WATER RESISTANT 3・5 BAR」か「WATER RESISTANT」の表示の有る時計	ケースの裏又は文字盤に「WATER RESISTANT 10・15・20 BAR」か「WATER RESISTANT」の表示の有る時計	
洗顔や雨など一時的にかかる水滴	×	○	○	○
家庭の水仕事や雨など	×	×	○	○
水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	×	×	×	○
空気ポンベを使用しないスキューバダイビング	×	×	×	○
空気ポンベを使用する本格的な潜水	×	×	×	×
水滴がついた状態でのリュウス操作	×	×	×	×

- ※裏面に「SHOWER PROOF」の表示が有るものは、非防水となります。
- ※プッシュボタン付きのモデル（ストップウォッチ等）は、日常生活用強化防水の物でも水中での操作はできません。
- ※防水性能には、バンドは含まれません。

### ⚠ 注意

- 水中あるいは水分がついたままでの、ボタン操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良・故障の原因となります。
- 非防水時計については一時的にかかる水滴（洗顔時の水はね・雨など）や汗にはご注意ください。万一、水や汗で濡れた場合には乾いた柔らかい布で水分を拭き取ってください。
- 日常生活用強化防水時計でも、勢いのある水道の水を直接あてる等の事は避けてください。防水性能以上の水圧がかかり、防水不良や故障の原因となる場合があります。
- 日常生活用強化防水時計（10～20気圧防水）の場合、海水に浸かった後は、ケースについた海水を真水で良く洗い落とし、洗った後はサビ等が出ないようによく拭き取り乾燥させてください。
- 時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部の湿気より低い時などに、ガラス面がくもる場合があります。くもりが一時的な場合は時計内部に支障ありませんが、くもりが長時間消えない場合や時計内部に水分が入っている場合は、そのまま放置せずにお買上げ店またはクレファールお客様相談室にご相談ください。

## 水銀・化学薬品・ガスなどについて

### ⚠ 注意

- 水銀・化学薬品（シンナー・ガソリン・各種溶剤・またはそれらを含むクリーナー・接着剤・塗料・薬品・香水・化粧品類）・ガスなどが触れると、ケース・バンド・文字盤の変色、樹脂部品では変色・変形破損する場合がありますので、充分ご注意ください。

## 衝撃・温度について

ショック	軽スポーツによる影響はありません	●床に落とす、ぶつける等の激しいショックを与えないでください。ガラスが割れたり、故障の原因になります。
振動	乗り物等の軽い振動による影響はありません	●オートバイなどで強い振動が加えられた場合に、一時的に遅れる事があります。
温度	35℃をこえる場所での精度は不安定になります。	●直射日光が長時間あつたり、高温になる所に置かないでください。
	5℃に達しない場所での精度は不安定になります。	●寒い所に長時間置かないでください。

※温度の影響で多少の進み遅れが生じる事がありますが、常温に戻れば元の精度に戻ります。

※-10℃以下、+60℃以上の温度下に放置すると、止りの原因になる、電池が液漏れする、電池寿命が短くなる等、様々な故障の原因となります事がありますのでご注意ください。

## かぶれやアレルギーについて

### ⚠ 注意

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の方は、体調により皮膚にかゆみやかぶれをきたす事があります。
- かぶれの原因としては、金属・皮革に対するアレルギー、時計本体やバンドに発生した、サビ・汚れ・付着した汗などが考えられますのでご注意ください。
- 万一肌などに異常が生じた場合はただちに使用を中止して、医師にご相談ください。

## 電池についてのご留意とご注意

### ⚠ 警告

- お客様は時計から電池を取出さないでください。
- やむを得ずお客様が時計から電池を取出した場合は、電池をただちに幼児の手の届かない場所に保管してください。
- 万一飲込んだ場合は、体に害がある為、直ちに医師とご相談ください。
- 破裂・発熱・発火などのおそれがありますので絶対に電池をショート分解・加熱・火に入れるなどしないでください。

### ⚠ 注意

- この時計に使用している電池は充電式ではありません。無理に充電すると、液漏れや破損のおそれがあります。

## 電池寿命

- 最初に入っている電池は、工場出荷時に時計の機能を点検して性能を検査する為の電池です。この電池は時計をお買上げ後、記載の電池寿命に満たないうちに切れる事がありますのでご了承ください。また、この電池は保証の対象外となりますので、その場合の電池交換は有償となります。
- 製品仕様または商品タグ・シール等に特に表示のない場合、この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約2年間作動します。

## 電池交換

- 思わぬケガをする危険性がありますので、お客様は電池交換をしないでください。また、万一自分で交換した際は、作業により生じた事故・故障・防水不良等は保証の対象外となります。
- 電池交換は必ず、お買上げ店または時計専門店に御用命ください。
- 電池が切れた状態で時計を長時間放置すると、故障の原因にもなりますので、お早めの交換をおすすめいたします。

## ケース・バンドのお手入れ

- ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接していますので、汚れたままにしておきますと、衣服を汚したり肌の弱い方はかぶれたりする事がありますので、そのままにせず汚れや水分は柔らかい吸湿性の良い布でふき取り、常に清潔にしておいてください。また汗をかきやすい季節等には、バンドを少しゆるめにして通気性を上げるなどして、お使いください。

## 金属バンド

- 時々やわらかい歯ブラシ等を使い石鹸水で部分洗いなどをしてください。汚れたままにしておくと、サビたり腐食したりする事があります。
- 水分はやわらかい吸湿性の良い布でふき取り、良く乾かしてください。※非防水時計は時計本体に水がかからないよう慎重に扱ってください。

## 皮革バンド

- 水分・汗・汚れなどは大敵です。時計をはずした後は、やわらかい吸湿性の良い布でふき取り、風通しの良い場所に置いて良く乾かしてください。※水洗いはできません。

## 軟質プラスチックバンド

- ウレタンバンド等、軟質プラスチック製のバンドは、特にお手入れの必要はありませんが、汚れがひどくなると衣服を汚したり皮膚に障害を起こす場合もありますので、時々石鹸水で洗ってください。
- 化学製品なので溶剤等によって変質することがあります。
- 通常数年の使用で材質が硬化してきますので、その際は新しいバンドと交換してください。
- ※非防水時計は時計本体に水がかからないよう慎重に扱ってください。

## 色落ち

- 皮革・軟質プラスチックのカラーバンドは、変色・色落ちする場合がありますのでご注意ください。
- カラーバンドを水に濡れたまま、または湿った状態で使用すると色落ちの原因となり、衣服を汚すおそれがありますのでご注意ください。

## メッキ部品

- 金属バンドやその他金属部分には、メッキを施した製品があります。使用後に手入れをせずに使い続けると、メッキのはく離（ハガレ）や腐食の原因となり、衣服を汚したり皮膚がかぶれたりする事もあります。特に夏場などの汗をかきやすい季節には、こまめなお手入れを心掛けてください。

## 耐水処理バンド

- 製品により、汗や水に触れても吸収しにくい処理を施したナイロンや皮革バンドを使用している物があります。このバンドの耐水性は使用期間や使用条件により差がありますが、徐々に効果が衰えますのでご了承ください。

### ⚠ 警告

- 揚げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによってお客様の大切な衣類や身体を傷つける事がありますので、充分にご注意ください。

- バンドの脱着の際に中留めなどで爪をキズつけるおそれがありますので、ご注意ください。

- 転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う可能性がありますので、充分にご注意ください。

- 特に乳幼児を抱いたりする時には、時計に触れる事で思わぬケガを負ったりアレルギーによるカブレをおこしたりする場合がありますので充分にご注意ください。